

いわみざわの民話

第29回

いわみざわの民話は、平成9年に「いわみざわの民話」刊行委員会が発行しました。

昔のこと明治19年の元旦 ②

ある開拓者のイリュージョン

伝三は藩祖侯への報告を終える
と家族に向き直り「是が非でも、貸
与された5千坪の開墾達成の決意
を家族に」と云うより、むしろ自分
自身にいい聞かせるように訓し終
えた。この間、時間にすれば僅かな
間であったが、袷着にしみいる寒さ
は膝もこの感覚を失う程に厳しく、
祖母のタカは生木の煙にむせいつ
て眼をふき、鼻汁をかんだ。

夫伝三の元旦の礼が終わると妻の
リウは大きな鍋を自在鍵に掛け、薪
をさしくべて雑煮を温めた。雑煮
は味噌あじで、だしは夏をつねづれ

に釣って乾しておいた大きなウグ
イで、手作りの野菜が沢山切り込ま
れた勸業課思いやりの特配の餅が
入っていた。鍋を掛け終ると妻の
リウは流し元に揃えておいた箱膳
を、夫、長男、祖母、自分の分と順
に並べ、祖先伝来の朱塗りの木盃を
先ず伝三にさし御神酒を注いだ。
伝三は忝けなしとグウと一息に
干すとこれを長男の高久の小さな
手にとらした。盃は高久から祖母
のタカに、タカから妻のリウにと廻
されて伝三の箱膳に戻って伏せら
れた。



大きな碗に盛られた雑煮の湯気
はふくやかに昇り、渡道1年目の新
年を寿いだ。

高久は雑煮をフウフウ吹きさま
しながら餅を口に入れ、その度に
「お母さま餅はうまいのう」と歡
びの声を揚げた。平素無口な伝三
もつりこまれてか「有難いことジャ
うまいだのう」と相槌を打った。

第30回は「昔のこと明治19年の元
旦ある開拓者のイリュージョン③」
を紹介します。

※原文に沿って掲載しています。

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課

ひとの動き 平成24年6月30日現在

●住民基本台帳	人	口	総数 89,020 人(前月比 - 69)
			男 41,758 人(前月比 - 34)
			女 47,262 人(前月比 - 35)
世帯数			42,565 世帯(前月比 - 1)

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
 ☎ 0126-23-4111 ㊚ 0126-23-9977
 ホームページ <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>
 ▶救急当番医ガイド ☎ 0126-23-5153
 ▶消防テレホンガイド ☎ 0126-24-0119

この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。